

報恩寺だより

No. 42

平成24年4月15日発行
おたすけ観音 報恩寺
綾瀬市寺尾南2-10-1
電話 0467-78-7160
FAX 0467-79-1567

だいはんによきとうえごんしゅう 大般若祈祷会勤修について

5月17日は、おたすけ観音の縁日です。皆様の家内安全、身体健全、諸災消除、諸縁吉祥を祈り、大般若祈祷会を次により行いますので、お誘い合わせのうえ御参詣くださるよう、ご案内申し上げます。

記

期 日 平成24年5月17日(木)
日 程 午後1時 御詠歌
午後2時 大般若祈祷会
午後3時 落語 隅田川 馬石 師匠
午後4時 小斎

祈祷料(2,000円)は、この報恩寺だよりを郵送した封筒にいれ、
当日御志納お願い致します。

特別御寄進

次の方々から特別御寄進を頂きました。各位の御芳志に感謝すると共に供養菩提のご冥福をお祈りいたします。

平成23年4月 橘川 節様	平成23年7月 戸井田国輝様	平成23年10月 橘川 到夫様
平成23年5月 笠間 功様	平成23年9月 小山田スミエ様	平成23年10月 伊藤伊都子様
平成23年7月 橘川 稔様	平成23年10月 奥津 寛保様	平成23年12月 柏木 英行様

◆ 報恩寺年間行事予定 ◆

4月 8日	花祭り	12月 31日	除夜の鐘
5月 17日	だいはんによきとうえ 大般若祈祷会	1月 1日	お年始詣り
8月 7日	だいせがきえ 大施餓鬼会	2月 15日	ねはんえ 涅槃会
9月 12日	しやうどうえ 秋彼岸会法要	3月	春彼岸会法要
12月 10日	成道会		

■ 棚経についてのお知らせ ■

下記の表の通り8月の棚経をさせていただく予定です。
今年度の新盆につきましては、平成23年7月15日から平成24年7月12日までに四十九日法要を勤めた仏様で、下記の24年度の表に該当しない仏様を平成24年7月13日から15日の間にお参りさせていただきます。
該当するお宅には7月(新盆)・8月とも1ヶ月ほど前にお知らせをさせていただきます。

平成24年度

日	時間	地区	日	時間	地区	日	時間	地区
8月13日(月)	8時～9時	寺尾南2丁目・13軒	8月14日(火)	8時～9時	寺尾南3丁目・19軒	8月15日(水)	8時～9時	寺尾北2・1丁目・15軒
	9時～10時			9時～10時			9時～10時	
	10時～11時			10時～11時			10時～11時	
	11時～12時	寺尾本町1丁目・19軒		11時～12時	寺尾本町3丁目・13軒		11時～12時	寺尾中4・3・2丁目・17軒
	12時～13時			12時～13時			12時～13時	
	13時～14時			寺尾中1・3・4丁目・17軒			13時～14時	
	14時～15時	14時～15時			14時～15時			
	15時～16時	寺尾台・44軒			15時～16時		深谷南・中・16軒	
	16時～17時			16時～17時	16時～17時			
17時～18時	17時～18時		17時～18時					
18時～19時		18時～19時	18時～19時	18時～19時	上土棚・4軒			

観音さま

東京都港区西麻布、都心の喧噪の中に大本山永平寺東京別院長谷寺があります。ここは江戸の昔から観音さまのお寺として信仰を集めてきました。先の戦争で総ての伽藍を消滅した後、昭和五十二年に現在の観音さまが再建されました。

「麻布大観音」として親しまれ、この観音さまが祀られている観音堂には、朝夕たくさんの方がお参りをされています。

この観音さまは高さが約十メートル、木造の観音さまとしては最大クラスのもので、十一の顔を持つ十一面観音さまで、右手には杖を、左手には蓮華の花が入った花瓶を持ち、左足を少し前に出して、今にも歩き出しそうなお姿をされています。

「観音菩薩」「観自在菩薩」と呼ばれる、観音さまとはどのような仏さまなのでしょう？

観音さまは音を觀察し、観るように人々の苦しみの声を聴くことができると言われています。そのお姿にはさまざまなものがあります。共通するのは「観音」または「観自在」といわれるように、まさに今、苦しみを悩んでいる人々の声を自在に聴き、救済しようとする仏さまなのです。

観音さまにはさまざまな苦しみや、願いが届けられます。

麻布大観音をお参りするあるご婦人のお話です。寝たきりのご主人の介護が長期間にわたりとても大変で、その上最近では認知症の症状が出てきました。もう今では介護しているのが奥さんであるということもわからなくなったようで、悔しいやら情けないやら。ある時は妻である自分をも忘れたことに苛立ち、ついご主人の頭をたたいたりすることもあって、後でとても落ち込んでしまったそうです。

ご主人が介護サービスを受けている間に外出をして、時々観音さまにお参りをしているとのこと。もちろん、お願いすることはご主人の回復と、安らかな日々を送りたいということ。そんなある日、ご主人がこんなことをおっしゃったそうです。「どのどなたか存じませんが、こんな私の面倒をよく見ていただきありがとうございます。本当にあなたは観音さまのような方です」と。

このご婦人はこの話を本当にうれしそうにお話下さいました。ご主人の病状の回復はかなわないことだったけれども、介護をしている自分を観音さまが救ってくれたと感じているとのこと。

今日も世界中で苦しみを悩んでいる人がいます。観音さまはその声に必ず耳を傾け、どこにでも救いに来て下さいます。

「南無大悲観世音菩薩」
観音さまを信じる人々のこのお唱えの声は、必ず観音さまに届いているのです。

曹洞宗のラジオ番組「禅のこころ曹洞宗」より



言葉だけではすべてを伝えきれない
言葉だけでは伝えきれない
でも、ひととほ言葉でこころを伝える
伝えてください
やさしく、思いやりを
・・・あなたの言葉で

【ホームページでラジオ法品の聴取を公開中です】
<http://www.soto-kanto.net/>

曹洞宗のラジオ番組
禅のこころ曹洞宗

毎週日曜日 朝5時25分より
文化放送 (QR・AM1134kHz) にて放送中!!

曹洞宗関東区教化センター
〒110-0005 東京都港区有明3-14-4 有明ビル内
TEL 03-5561-5751 FAX 03-5561-6120

▲アナウンサー室の様子
▲収録中のスタジオ風景

同行同修のつどい@宮城県

宮城県宗務所主催 平成23年度 梅花流特別講習会 「同行同修のつどい」追悼・復興への祈りが宮城県、秋保温泉において二月八日、九日の日程で開催されました。

宮城県宗務所へは神奈川県第二宗務所から復興のお手伝いや、梅花法具の寄進などをさせていただいたご縁があり、この集いに報恩寺梅花講か



らも二名の講員さんと副住職の三名で参加してきました。一日目は東日本大震災物故者追悼法要と復興祈願法要が行われました。

宮城県内にある曹洞宗の梅花講約二〇講ほどのうち、55講が深刻な被害を受け、59名もの講員の方が命を落とされました。「同行同修のつどい」では寺族さん、講員さん方によるお話、東日本大震災の体験、辛いと感じたこと、ありがたいと感じたこと、その言葉一つひとつが心を打つものでした。五〇〇名近い参加者により、同行御和讃を全員でお唱えして、一日目の行事を終えました。

参加二日目は、午前中は



梅花講習、そして宮城県沿岸部へ向かう行程でした。

神奈川県 梅花講員の皆様は、東日本大震災で津波の被害を受けた地域にはまだ行かれたことの無い方が殆んどでした。実際に現地で体感することは、テレビや新聞写真を通して見るものとは違った感覚を持たれたと思います。

仙台東バイパスを北上する車窓からは、右側に津波の直接的な被害を受けた仙台市若林区沿岸の様子が見えました。バイパスにより津波が軽減された左側と地域とのコントラストは、震災後一年



近く経過してもはつきりと見て取ることができました。曹洞宗の御寺院様の本堂前にて宗務所長導師により法要を営ませていただきました。

野蒜から奥松島へ通じる道路は、嵩上げされて舗装されていました。奥松島の宮戸島へ渡る松が島橋は、まだこのような状況です。復旧復興がいかに時間の掛かるものであるか、深刻な実態を目の当たりにしました。

今回の宮城県梅花流特別講習会のテーマとなった同行同修のこころを常に持ち続けていくことが大切であると感じました。